

現状と課題

・急激に変化している社会の中で、学校から社会への移行が円滑に行われていない子ども・若者の実態が指摘されており、その背景には、コミュニケーション能力の不足、低い自己肯定感など、「社会的自立」に必要な能力や態度に関わる子どもたちの様々な課題が存在しています。

・子どもたち一人ひとりが、将来直面するであろう様々な問題に柔軟かつたくましく対応できる能力や態度を子どもたちに身に付けさせることは、学校教育の責務であると言えます。

・これまで取り組んできた本市の学校教育を各学校の「キャリア在り方生き方教育」の目標と、視点（「自分をつくる」「みんな一緒に生きている」「わたしたちのまち川崎」）から幅広く見直し、子どもの社会的自立に向けて必要な能力と態度を、成長段階に応じて系統的・計画的に育てる教育が求められています。

政策目標

「キャリア在り方生き方教育」をすべての学校で計画的に推進し、すべての子どもに、社会で自立して生きていくための基礎を育みます。

主な取組成果

キャリア在り方生き方教育について、8つの推進協力校を選定し、各学校において、改めて職員全体で子どもたちの姿や教育活動の見直しを行い、「自己肯定感を持つ」「他者と関わる力をつける」など、それぞれの実情に応じた教育目標を設定して進めました。

推進協力校における活動のうち、地域の団体と関わりながら地域の自然に触れるという学習活動を行ったことにより、地域の自然に対する子どもの意識がより好意的な意識に変化するという事例がありました。また、クラス内や学校におけるイベントで発表する機会を意識的に設けることにより、子どもに、自分の思いを伝える力や他者の気持ちを受け止める姿勢を培うことができました。

各学校に対して研修を行い、キャリア在り方生き方教育の理念を伝えるとともに、教員の抱えているキャリア在り方生き方教育に関する疑問・質問に対応し、平成28年度からの本格実施にむけた各学校における活動を支援しました。また、保護者向けリーフレットの作成・配布や教育委員会広報誌「教育だよりかわさき」などの活用を通じて、教職員を始めとする関係者への情報提供を行いました。

参考指標

※ 基本政策の目標の達成度を評価する際に参考とするための数値であり、この数値のみをもって基本政策の成果とするものではありません。基本政策の評価は、事業の進捗状況等を踏まえて総合的に行います。

指標名		実績値	H27	H28	H29	目標値(H29)
自尊意識	小6	6.2% (H26)	6.7%	—	—	0%
	中3	10.0% (H26)	9.4%	—	—	0%
「自分にはよいところがあると思わない」と回答した児童生徒の割合【出典：全国学力・学習状況調査】						
将来に関する意識	小6	85.1% (H26)	84.6%	—	—	87%
	中3	69.7% (H26)	69.6%	—	—	72%
「将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っている」と回答した児童生徒の割合【出典：全国学力・学習状況調査】						
「キャリア在り方生き方教育」の推進状況		0校 (H26)	29校	—	—	178校

「キャリア在り方生き方教育全体計画」作成校数【出典：川崎市教育委員会調べ】

主な課題

平成28年度からの本格実施にむけて、すべての市立学校において、キャリア在り方生き方教育を实践する基盤となる「キャリア在り方生き方教育全体計画」を作成する必要があります。

一部の学校においては、「今までの学校教育活動を見直し、価値付ける」というキャリア在り方生き方教育の理念の共有が十分ではない現状があります。今後も引き続き、各種会議や研修等を通じて意識の醸成に努めるとともに、保護者や地域の方々にむけての情報提供を一層積極的に行うことが必要です。

本市における児童生徒の自尊感情の数値が低いことが課題としてあげられます。変化の激しいこれからの社会を生きる力をつけるために、各学校におけるキャリア在り方生き方教育を通じて、児童生徒の自尊感情を高めていく必要があります。

教育改革推進会議における意見内容

キャリア在り方生き方教育は、他都市のモデルとなるような、川崎独自の素晴らしい取組であるので、高く評価している。

キャリア在り方生き方教育の研修等において、各校種の教員をない交ぜにして子どもの発達段階に応じた教育の在り方等について意見交換する機会を設けるとよい。

各学校においてキャリア在り方生き方教育を实践する中で、学校と地域とのよりよい連携の在り方について検討を進めていって欲しい。

今後の取組の方向性

全ての市立学校においてキャリア在り方生き方教育を实施し、それぞれの発達段階に応じて身に付けさせたい力を教職員の間で共有しあい、様々な教育活動を通して子どもたちの社会的自立に向けて必要な態度や能力を育成していきます。

学校説明会等を活用して、キャリア在り方生き方教育の理念を積極的に保護者等に伝えて理解・協力を得るとともに、地域等とも情報共有しながら、各学校におけるキャリア在り方生き方教育を推進します。

施策1

キャリア在り方生き方教育の推進

概要

「キャリア在り方生き方教育」に関する研修の実施やリーフレットによる啓発、推進協力校における検証など、平成28年度からの全校実施に向けた取組を進めます。
 教師用資料である「キャリア在り方生き方教育の手引き」を活用しながら、児童生徒のための「キャリア在り方生き方ノート」を作成し、「キャリア在り方生き方教育」を推進していきます。

事務事業名	キャリア在り方生き方教育推進事業		
担当課	教育改革推進担当	関係課	
事業の概要	将来の社会的自立に必要な能力や態度を育てていく教育を、平成28年度から全校で実践するため、手引の配布や研修により、「キャリア在り方生き方教育」についての理解を深めるとともに、指導体制の構築を図ります。 家庭との連携を意識したキャリア在り方生き方教育の推進を図ります。		
	H27	H28	H29
事業計画	手引きを活用した各学校の実践の支援	キャリア在り方生き方教育の全校実施	→
	「キャリア在り方生き方ノート」作成・配布・活用	「キャリア在り方生き方ノート」増刷・配布・活用	→
	推進協力校での実践の支援と検証		
	保護者への啓発用リーフレットの作成・配布		→
実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> ● 推進協力校8校の情報交換会を年3回行いました。 ● 年2回の担当者研修会を開催しました。（9月・2月。2月の担当者研修会は推進協力校報告会） ● 具体的に実践できるように、各学校における研修等を充実しました。（46校） ● 「キャリア在り方生き方ノート」（市内全小・中学生）及び「キャリア在り方生き方ノート教師用指導資料」を作成し、各学校に配布しました。 ● 保護者・教職員啓発リーフレットを作成し、配布しました。（3月） 			
課題と今後の取組			
<ul style="list-style-type: none"> ● 今年度は、「キャリア在り方生き方ノート」「キャリア在り方生き方ノート教師用指導資料」を作成し、各学校に配布しました。28年度はノートも活用しての「キャリア在り方生き方教育」の本格実施になります。「キャリア在り方生き方教育」についての理解を深めるとともに、指導体制の構築を図るために、具体的に実践できる力を高めるための研修等を今後も充実させていきます。 			